

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	簿記会計	科目名	工業簿記	科目コード	T1760A1
配当期	前期・ <u>後期</u> ・通年	授業実施形態	<u>通常</u> ・集中	単位数	4単位
担当教員名	河本 順子	履修グループ	<u>1I(BI/BO)</u>	業方法	義
実務経験の内容	企業における実務経験、また約10年間大手銀行系列会社でのデータベース構築経験、企業や官公庁への出講経験を活かし、簿記・経理の実務やオフィスアプリケーションの活用について実践的に講義する。				
学習一般目標	原価計算は製品やサービスを提供するためにかかった費用を計算することである。原価は、材料費や社員の労務費など製品・サービスの提供のために発生する費用、販管費や家賃なども含まれる。企業で原価を把握することは、商品の販売価格の決定や経営計画にまで影響を与えるため非常に重要である。本授業では、原価の考え方や原価計算の基礎知識を習得する。				
授業の概要および学習上の助言	工業簿記の基礎 原価計算の基礎				
教科書および参考書	教科書：サクッとわかる日商2級 テキスト 工業簿記 ネットスクール出版 サクッとわかる日商2級トレーニング 工業簿記 ネットスクール出版				
履修に必要な予備知識や技能	1年次前期に学んだ日商3級の知識を有していることが望ましい。				
使用機器	電卓				
使用ソフト					
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	工業簿記の基礎を理解する。			
	1	原価計算の流れを理解する。			
	1・2	基礎的な原価計算を行うことができる。			
	3・5	授業に意欲をもって取り組むことができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	50	10					40	100	
	学部 D P	1.知識・理解	30	10						40
		2.思考・判断	20							20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	定期試験期間中に試験を行う。								
	クイズ 小テスト	授業期間中に小テストを行う。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業態度 (集中して授業を受けているか) 及び授業参加 (積極的に発言しているか) により評価 する。								

授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 9/23	オリエンテーション 第1章 工業簿記の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第2週 10/7	第1章 工業簿記の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第3週 10/14	第2章 費目別計算 (基本編)	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第4週 10/21	第2章 費目別計算 (基本編)	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第5週 11/4	第3章 製造間接費の配布	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第6週 11/11	第3章 製造間接費の配布	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第7週 11/18	第4章 総合原価計算の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第8週 11/25	第4章 総合原価計算の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第9週 12/2	第4章 総合原価計算の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第10週 12/9	第5章 総合原価計算の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第11週 12/16	第5章 総合原価計算の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第12週 12/23	第6章 標準原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第13週 1/13	第6章 標準原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第14週 1/20	総復習	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第15週 1/27	まとめ	講義 問題演習	誤答問題の再確認